

令和8年8月21日

美濃加茂市政記者クラブ各位

美濃加茂市教育委員会
教育長 梅村 高志

市内中学校における水道水の過剰使用について

平素より、当市教育行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
標題の件につきまして、美濃加茂市立東中学校（校長 板津 英文）において、水道水の過剰使用が判明しましたのでお知らせいたします。

記

1 概要

(1) 発生経緯

- ・令和8年6月16日（火）、水泳指導開始の際に、現在は使用していない「中和槽給水バルブ（※）」を誤って開栓した。当該バルブは約2週間開栓されたまま水道水を使用し続けた。
- ・同年7月1日（水）、水道メーターの検針員からの6月分水道使用量報告により、過剰な使用状況を確認し、当該バルブを閉栓したところ水の流出は停止した。

※中和槽給水バルブ … 消毒槽の水を排水する際、その中和のために水を供給する栓で、現在は、消毒槽、当該バルブともに使用していない。

(2) 上下水道使用料の見込み

今回の誤操作による過剰使用量については、校内全体の水道使用量を一つのメーターで検針しているため特定することは困難です。

ただし、当該月（令和8年7月請求分）の上下水道使用料は、前年度（令和7年7月請求分：約62万円）と比較して、約50万円増加し、約1.8倍の約112万円です。

(3) 事案発生の要因

本件過剰使用が発生した背景には、以下の状況があった。

① マニュアルの不備

- ・学校にはプール管理に関する明確なマニュアルが整備されていなかった。

② 確認体制の不備

- ・水道使用量は毎日記録していたが、管理職が確認するまでの体制になっていなかった。

③ 中和槽給水バルブについての誤認識及び誤操作

- ・中和槽給水バルブについて「プール内の塩素濃度を調整する濾過器が自動調整を行う上で、常時開栓しておく必要があるもの」と誤って認識していた。この誤った認識により、当該バルブを開栓したままの状態を継続してしまった。
- ・現在は消毒槽の使用を中止しているため、プール使用において中和槽給水バルブは、本来開栓する必要のないものであったが、その旨を示す表示（例：開栓禁止、使用停止など）もなかった。

2 今後の対応

(1) 当該校への指導

- ・プール管理施設の管理マニュアルを整備し、遵守すること。
- ・中和槽給水バルブに「バルブ開栓不可」等の注意掲示を行うこと。
- ・水道使用量の確認結果を毎日管理職に報告し、異常があれば市教委に報告すること。

(2) 校長会にて、市内全小中学校へ事案説明・再発防止に向けた指導を徹底する。

(3) 処分については、今後、県教育委員会の対応を参考に検討し、厳重に対処する。

3 本件に係る 梅村 高志 教育長のコメント

このような事案が発生してしまったことを深くお詫びいたします。全ての学校に対し、プール関連設備についてマニュアルに沿って操作し、人為的ミスの防止に努めるよう指導を徹底してまいります。

【問合せ先】

美濃加茂市教育委員会事務局学校教育課	
課長 高橋 泰行（たかはし やすゆき）	
電話	0574-25-2111（内線340）
FAX	0574-28-1129